



常盤宮日新報  
發行所 常盤宮日新報社  
電話 六三〇  
印刷所 常盤宮日新報印刷所

### 日本精神と神社 (六)

石城郡神社總代人大會席上講演筆記

國學院大學教授  
文學博士 河野省三

そこで私は立歸つて大きい第三の日本精神の特色として斯ういふことを申し上げて見たい。即ちそれは廣い包容力を持つて居るといふことである。第一には發明的才能である、第二には本質の力を何處までも伸して行く、永遠の發展性を持つて居ると申したが、それに次いで廣い包容力である。有ゆる思想有らゆる信仰總ての生活を包まうとする大きな包容力である。それが日本精神の第三の特色である、これを言葉で換へて申しますと、日本精神の内容が豊富であるといふことである。日本精神は極めて内容が豊富であります。

一体世界に於て日本人は學問上必ずしも一番優れて居るとは言へないかも知れぬ。或は日本人の思想は最も緻密である言へないかも知れませぬ、併しながら其の内容に於てい世界に於て一番豊富であるといふことはいへる。其中には儒教も這入つて居る、佛敎も這入つて居る、殊に最近では西洋の文明がどん／＼這入つ

て居るが、矢張り是れも段々包容して居る、何でもがでも取入れる。皆さん、此の日本心、日本精神の第三の特色は特に御注意を願はなければならぬ大きな特色であります。

然らば今私がいつた儒敎を容れ佛敎を容れ西洋文明を容れたと申したわけでは當にならぬ。それは歴史の示す所だと申しても果してそんな包容力を持つて居つただらうかとお疑ひの方があるかも知れませぬが、然し是れは日本精神の著しい特色である。

日本人の忠義はかういふ日本人の、やまと心を根柢とせねばなりません。日本人の根本的國民性即ちその民族性の特色は三つの内著しい點があります。今之を日本心の特色と比較してみますと。

一、統一性……懐かしさ  
二、永遠性……神々しさ  
三、純真性……清々しさ  
是れが我が國民性の根本であり、我が民族性の特色であります。日本の文化も國民精神もかう云ふ基礎の上立つてゐる。

### 音樂講習會

作曲科 和聲學初歩對位法  
ピアノ科 伴奏ノ附ケ方  
ピアニ科 歌謡曲ノ作り方

▲期日 十五日ヨリ二十一日マデ  
▲會場 平陽女學校  
▲時間 (作曲科)午前八時—十一時  
(ピアノ科)午後一時—四時迄  
▲講師 武藏野音樂學校卒業中野篤親  
▲會費 一科目三圓 二科目五圓  
申込所 柴田書店 菊屋樂器店  
◆初歩の方も歡迎致します

### 御位牌と佛壇佛具

平町新川町  
橋本屋佛具店  
電話一六三番

質物一般  
各種債券類

### 三井質店

平町四丁目川岸  
電話六〇六番

### 専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します  
往診 呼吸器病ばかりではありません  
平町南町六五

### 川井内科診療所

醫學士 川井重之  
女醫 川井安子  
電話一八一番

亡父勝二儀本年新盆に相當仕候も故人の遺志に依り提灯の御贈與辭退仕度此段御諒承願上候

内郷村新町(平公園下)  
鹽坂 幸子  
電話一九二番

故高岡唯一郎  
故伊藤芳吉  
故山崎忠治

右本年新盆に相當り候處時節柄提灯その他供物一切御辭退申上度此段謹告仕候

八月九日  
山崎吉平  
伊藤淺之助  
高岡文夫

亡喜代子儀新盆に相當り候處時節柄佛前供品一切御辭退可申上候付不惡御了承相成度候 敬白

新田町  
清野音吉

亡息茂儀新盆の處時節柄御供物一切御遠慮申上候

舊七月  
森本盛一

# 石城郡下の生産米は

## 需要の僅か三分の一

不足分は他地から仰ぐ  
米の自給自足は不可能

平穀物検査支所の調査に依ると郡下の農家戸数は一万四千二百九戸に及び其の米の生産高は平年に於て六万二千石であるが郡下の米需要量は廿一万餘石に見られて居るから生産高は需要の約三分の一を満たすに過ぎず不足米は他地方より供給を仰いで居ると

八十八名にて頗る盛會であつたと  
計 端山正男、星野庸治、神谷辰五郎、有賀幸太郎、(幹事) 佐々木龍若外三十二名

計 端山正男、星野庸治、神谷辰五郎、有賀幸太郎、(幹事) 佐々木龍若外三十二名

# 今年シヤ

## 西瓜の當り年!

# 平安會の

## 役員改選

昨日の總會で  
既報平安會にては昨日午前十時より古鍛冶町良善寺に於て總會を開き戊辰殉難者追悼會を行ひ左の如く役員を改選したが列席會員数は

# 陣中

郷を想ふ  
江兵第三十三聯隊  
進 尻 (上)

謹啓時下炎熱燦くが如き折柄御高堂益々御健勝にて御繁榮の御事と遙察仕り候倍小官只今公務の爲旅に出張中に候が寸暇を得候ま

少々甘味が少なく  
貫十五錢で投賣り

平町の果物店はもとより最近では夜店迄進出に及んだ本年の西瓜は降雨が少かつた影響で少々甘味が少ないと云はれて居るが大浦、草野、高久、小名濱等よりドシ／＼移入されて地物相場同様投賣するので猛烈な競争が行はれて居ると

見て居るが本年は各地共豊作であつた關係から本場の千葉、埼玉、茨城等からもドシ／＼移入されて地物相場同様投賣するので猛烈な競争が行はれて居ると

暑中御見舞宛々近況御報告申し上げ御参考を致し度き存念に御座候幸に御一讀の榮を賜らば小官の幸之に過ぐるもの御座なく候  
當歩兵第三十聯隊は先般迄は本部を吉林に置き吉敷鐵道警備中に候ひしが吉敷鐵道未成線工事進捗に伴ひ同工事援護の歩兵第四聯隊主力も漸次東方に移動せし爲我が聯隊も本部を蛟河に移し依然吉敷間の鐵道警備に

從事する一方附近に散在する敗殘兵匪賊の討伐中に御座候、御承知の如く同線は條約に於て當然支那側に於て敷設の責任を有する工事に候へ共何分變轉極まりなき相手にて其曙光すら認め得ざるの故を以て軍隊援護の下に工事に着手九月中には完成の豫定の由に御座候吉林を出で、教化に向ふ途中は極めて森林地帯にして地勢又峻峻を極め恰か

# 簡閱點呼慰勞

本年度陸軍簡閱點呼の爲め検査執行官として山本少佐外三氏が今朝來平したので今夕六時より町役場及在郷軍人分會が發起となつて新藤屋支店に於いて慰勞會を行ふと

# 高利借換

江名許可可さる  
石城郡江名漁業組合では豫てより縣に對し一萬圓の高利借換方を申請中の處昨十二日付を以つて許可の指令に接したと

# 百圓寄附の

## 美舉に刺戟されて

昨報一名生として貧困救済費に百圓の寄附をなした美舉に刺戟されたか本日は同じく五圓爲替を伏見町長宛に送り、困る方に與へて下さる様と願出た奇篤な人がある

# 出場選手

## けいふ証衝

青年競技の  
平青年團にては本日午後一時より團長宅に体育部長も内地の山間を行くと何等變りなく小官をしてそらに平郡山間の旅行を偲ばしむるもの有之候、吉林發問もなくにして有名なる松花江の大鐵橋有之候

長六町餘橋梁の兩端に十數名の兵を徹宵配置し嚴に警戒中にて未だ襲撃の厄に合ひたる事無之候も一度同橋梁破壊されんか吉敷線に配置されたる數千の皇軍は忽ち後方連絡を断たれ總

# 木炭検査

## 大激減

濱三郡木炭 同業組合員の月中に於ける生産検査高は石城が四万二千九百九十九俵双葉が四万八百五十四俵相馬六千六百三十一俵で合計九万四千八百四十四俵である

の物資供給不可能を惹起する事忽論にして同橋梁は實に吉敷線の生命と稱さるゝも當然と思考仕り候行く事三時間餘にして蛟河驛有之候其間大小無数の橋梁と大墜道列車經過時間六分餘有之も橋梁は總て木造の爲匪賊の爲再三再四焼却の憂目に逢ひ列車不通事故も十指に餘り申し候

が昨年同期の十一万二千二百七十九俵に比較すると二万一千七百九十五俵の大減  
數を見て居る是れは十月頃よりの需要期を見越して蓄炭して居る結果である

# 御中元の御贈答に

## (共)の漆器を

漆器は 高尚優美、重寶な器物  
大暴落の最底値段時代  
共は漆器専門店にて在庫品各種豊富  
に取揃へ破格の大勉強を致します  
是非一度御照會を  
各國産漆器専門卸小賣

# 共榮漆器店

平町三丁目北裏  
(元郵便局裏通り)

# 旭硝子株式會社製品

## 板ガラス

製造 賣販  
赤菱印  
硝子 食器  
硝子 壺  
其他 各種

# 松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)  
仙臺市榮町(電話五九七番)

# CAFE SEKAI

## カネ子 奇界

紅、そして青の灯の下に  
美女のくむ緑酒を知る御身よ  
さらば来り召せ  
吾が世界のハレムへ。

美しのオアシス世界の麗女は  
いと久しく御身の來るを  
心して待てり。

# 兵役を免除されて

## 極度に悲觀し自殺

### 川前村出身の海軍兵

石城郡川前村生れ蛭田朝治(三)は本年五月横須賀海兵團に入團した處最近不治の病氣に罹り兵役免除となつたのを極度に悲觀し「御奉公が叶はずば生きてゐる効なし」と去る十日神奈川縣藤江町鶴沼海岸松林中で縊死を遂げたのを十二日朝通行人が発見したとて本日平署に同人の身元照會があつた

# 列車防害を

## 初めて自白

### 豊職の二青年

鐵道線路に枕木を並ぶ

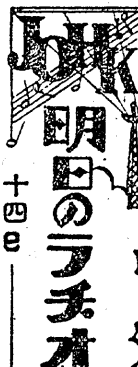
石城郡勿來町大字四澤豊職秋本道政(三)及び同所秋本富重の雇人豊職經淵秋之助(三)の兩名は一昨日來檢事局で市川上田兩檢事の嚴重なる取調べを受け居るが去月二十九日勿來、植田間鐵道線路に枕木を並べ列車の轉覆を企てた重大犯人である事を自白したので本日列車防害罪として平刑務所に收監され豫審に廻送された

# はに街

## もう秋風!!!

平附近のスナツプ

涼を趁す夏の記事も一段落 曆はまだ八月だが街には早くも秋風が吹いて居る、蟬時雨のやうなのが二度三度——あとはうつすり曇つて何處からともなくつめたい秋風が吹いてくる、もう秋か!



明日のラジオ 十四日 今夜も明日も雨 東風晴れたり曇つたり時々小雨 がございます

### 今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 うたのおけいこ 外山國彦
- 後六、三〇 山と海の講座 「伯耆大山の特異性」田中義雄
- 後七、三〇 講演の夕
- 後九、三〇 満洲より「北滿に於ける建國思想宣傳に就て」萩原昌彦
- 後九、三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

### 明日の部

- 前七、〇〇 「孟蘭盆會法要」曹洞宗林松院住職三宅俊雄外
- 前七、三〇 佛教講話「孟羅盆について」文學博士常盤大定
- 前九、一〇 養料料理「朝食」養料研究所
- 前九、三〇 子供の時間 唱歌 J.O.A.K 唱歌隊
- 後九、三〇 音楽 健夫 指揮 吉原規
- 前一〇、〇〇 宗教講話

### 夏井青年總會

石城郡夏井村青年團では来る十六日午前八時より小學校に於いて總集會を催すと

# 四百圓横領

## 平檢事局活動

### 取調べを開始

石城郡渡邊村大字上釜戸高木毅(三)は本年四月頃より同村川島某外一名より四百圓餘を横領したものをらしく本日平檢事局に於て市川檢事が取調べを開始すると共に植田署に對し確證を擧げる可く活動を命じた

# 夫から逃るゝ妻

## また妻を嫌ふ夫

### 捜査願の社會相

石城郡江名町南町四十四家伊太郎方宿泊人兩澤幸松の妻チヨ(三)は夫が失業したのに愛想を盡かし去る十二日夜八時頃十三才になる實子を置いて無断家出したので本日夫より平署宛妻の捜査願出たが是れと反對に郡山市細沼三五北村タキ(三)の夫留藏(三)は去る十

# 金馬簾

## 高久消防組へ

石城郡高久村消防組では去月中旬全員が奉仕的に出勤し小學校庭の擴張工事に從事

# 小名濱で溺る

## 危い處を救助

石城郡湯本町傾城居住入山炭礦坑夫須藤部一郎(三)は去る十一日小名濱海岸にて水泳中押流されて溺死せんとしたのを見張中の消防組救助船に救はれた

# 平町人事

- △出 生
  - △揚土一五半谷一秀氏長女 美奈子
  - △播穂小路一原田庄次郎氏 二女アサ子
  - △古鍛冶町百二牧野義則氏 三男稔
- △回 出
  - △求 人
    - △自轉車工見習 二十以下 尋卒 月三圓より(平窪 村某)
    - △女中 三十迄 尋卒 仕 着小使(平町某食堂)
    - △出前持 十五才 尋卒 仕着小使(平町某)
    - △回 求 職 の 部
      - △ラヂオ工 十七才 高卒 給料面談(内郷村某)
      - △雜夫 二十八才 高一修 給料面談(好間村某)
      - △魚店員 十四才 尋卒 給料面談(平町某)
      - △土工夫 三十五才 尋卒 給料面談(宮城縣某)

# 崇徳剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百二十六席 眞庭念流の達人櫻井五助

按摩を集める

熊谷の旅宿小松屋の手代

は前を通る按摩を呼止め  
手「お前さんは目が見えるか」

○「へエ、盲人でございます」

手「それは恰度お誂通りだ  
此處に泊つてゐる秋山といふ  
劍術の先生が宿の按摩さん  
を殘らず呼んで今夜御馳走  
するさうだ、尤もお酒と  
甘い物を食べさせるばかり  
では無い、相當な療治代を  
拂ふ、どうだね御馳走にな  
るかね」

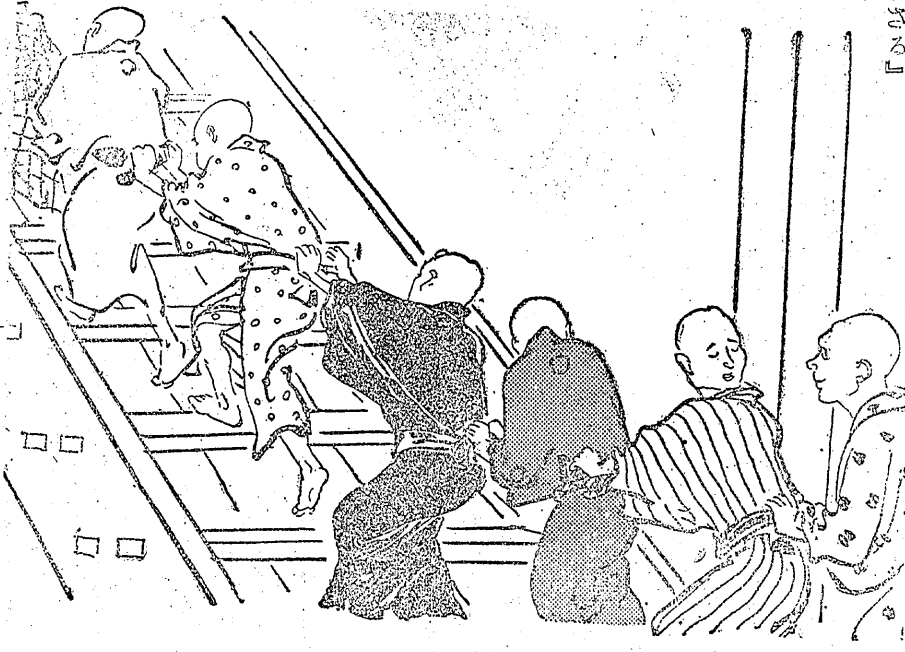
○「それは有難い事ござい  
ます、療治代を下すつた  
上に御馳走して下さるとは  
夢のやうでございますね」  
手「それでは此方へお入り  
按摩さんを下の六番へ通し  
ておくれ、もつと捉へるか  
ら」

これを按摩が聞いて、も  
つと捉へると云つたが、蟲  
だと思つてゐるか妙な顔  
をしてゐる

△「按摩鍼」

ピと笛を吹いて下の方  
から来た大坊主  
手「按摩さんちよい待つて  
おくれ」  
○「へエ、何方さまござい

手「小松屋だよ」  
△「それは有難うございま  
す、小松屋さんのお客は種  
が良から療治代も餘分に  
下さる」



手「おい按摩さん、お前を  
呼ばばとて揉んで貰うわけ  
では無い、今夜お泊りなす  
つた劍術の先生がお前さん  
方を大勢呼んで御馳走をし  
た上に、施行を下さるさう  
だ」

下駄に杖を通して土間に  
置き女中の案内で六番の座  
敷に通ると先に入つてゐた  
按摩が  
○「これは旦那でございます  
すか、今晚に御馳走さまで

△「それは御奇特な事でご  
さいます、何にしる宿にし  
ては按摩が多く、それが爲  
に間の悪い者は夜露に打た  
れて一晚中呼んで歩いても  
お客の無いことがございま  
す」  
手「さうだらう、まあ、  
此方へ來ませえ、おい鍋ど  
んこの按摩さんも六番へ通  
しておくれ」  
女中「此方へ、お出なさい  
よ」  
△「へエ、有難うござい

と御免下さいまし」  
と入つて来たのは女按摩  
瘤「これはおたきさんか、  
さア、此方へお出で、按  
摩だとして女の方が色氣があ  
る、夫にお前さんは盲目に  
しては惜しい、奇蹟ださう  
だ」  
たき「油を掛けてはいけま  
せんよ、お前さんは世辭が  
いゝから下のおときさんが  
迷つて杖から笛まで賣つて  
お前さんに入揚たね」  
瘤「そのやうな事は船中に  
ては申さぬものにて候、イ  
ヤボン」  
按摩の話はなか、面白  
い、そこへゾロ、按摩が  
入つて来た、ところへ岸丈  
右門が参り  
丈「大分集まつたナ、何人  
程居るナ」  
聞かれて手松屋の手代が  
手「只今の處では二十一入  
居ります」  
丈「大層集めたナ、これは

皆盲人であらうナ、  
手「左様でございます、目  
明さは一人も居りません」  
丈「それでは二階の廣間に  
通してくれ」  
手「皆さん、天昇して下さい  
まし」  
○「へエ、畏まりました  
さア二階へ行きますせう」  
と先に立つた者は手代に  
手を引かれ跡の者は順々に  
帯へ廻り梯子段を上り廣間  
に通ると丈右衛門が指圖し  
て弓形に列べた、そこへ女  
中がお茶を持つて来る、そ  
ねには干菓子に紙に敷いて  
ある、暫くすると出て来た  
は秋山要介、ズーツと一同  
を見渡して  
要「揃つたか、俺は秋山要  
介である」  
○「へエ、豫てお名前は  
承はつて居りました、秋山  
先生でございますか、今晚  
はわたくし共へ御馳走して  
下さるとの事で誠に有難い  
儀でございます」  
要「お前方はこの宿の按摩  
だナ」  
○「左様でございます、熊  
谷と鴻之巢で嫁いで居りま  
す」  
要「どうしてめくらになつ  
たか」  
○「わたくしは道樂が過ぎ  
まして、瘡毒で目が潰れま  
してございます」  
要「それは自ら、求めた事  
だ、其他の者もやはり瘡毒  
か」  
△「わたくしは麻疹が目  
に入りまして」  
要「これは怪しからん事だ  
断りなしに麻疹が目に入り

込むとは不屈至極、アハ、  
と笑ひました

## 中元特賣

- 洋コップ 半打 三十錢
  - 洋菓子 盆 四十五錢
  - 洋菓子 器 四十五錢
  - 洋盆 セット 六十五錢
  - 石目塗尺長手盆 四十錢
  - 石目塗盆付菓子器 八十錢
  - 硬質製盆付菓子器 一圓五十錢
  - 巻葉 セット 二圓六十錢
  - 菓子器 セット 二圓七十錢
- 其ノ他種々御用命願ます  
平町一丁目  
和久井屋漆器店  
電話四〇五番

## 御返禮銘茶

御家庭用  
京清水焼  
御前茶器  
番茶器  
組三〇錢  
在荷豊富

八月十日ヨリ十四日

香味本流の本場銘茶を  
召上りませう

電話三九六番  
大勝園

玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六番